

組織細胞診

(細針生検/穿刺吸引)



提出が必要な主な構成要素

- 適切に染色され、薄く伸ばされたサンプルを含むスライドを最大4枚
- 最大2つの異なる組織部位/組織源
- 関連する病歴/病変の説明

細針生検 (FNA)

ほとんどの病変では、細針生検（吸引なし）が推奨されます。

病変の剥離不良が懸念される場合は、穿刺吸引を検討することができます。

押し当て塗抹およびスワブ

生検サンプルからの押し当て塗抹の作製、またはFNAが適用できない表在性/排膿性病変からの押し当て塗抹の作製に使用できますが、解釈が限られる場合があります。

組織内の細胞集団や微生物を十分に採取できない可能性があります。

FNA



FNB



細胞の展開と完全性を最大化する

1. サンプルを清潔なスライドガラス上に伸ばします。
2. 2枚目のスライドをサンプルの上に優しく置き、**圧力を加えず**に2つのスライドを滑らかな水平の動きにより引き離します。

有用なヒント： サンプルスライドとスプレッダースライドをテーブルの上で保持することは、サンプルを展開する際に余計な圧力が加わらないようにすることに役立ちます。

有用なヒント： 垂直の方向にサンプルスライドとスプレッダースライドを引き離さないようにしてください。これにより、「サンドイッチ」状態の調製が行われ、細胞が評価に適した薄さに広がらなくなる可能性が高くなります。

染色と提出

1. 塗抹の調製後、乾燥アーチファクトを避けるため、速やかに風乾します。乾燥を促進するため、ヘアドライヤーの冷風の使用が役立ちます。
2. スライドが部位と患者名のラベル付けがされていることを確認します。
3. メーカーのプロトコルに基づきロマノフスキータイプの染色液を使用してスライドを染色します。
4. イマージョンオイルを滴下し、カバーガラスを付けます（The Basicsを参照）。

スキャンする際

- スライドのサンプル面がスキャナーレンズ方向に上を向いていることを確認します
- スライドロックがかかっていることを確認します
- スキャナーの移動を妨げるものが周囲にないことを確認します（作動中の遠心分離機を含む）